

安心して利用するために 公共交通機関でも感染症対策

☎ 交通政策課 ☎027-898-5939

各公共交通機関では、国土交通省や日本バス協会などの感染拡大予防ガイドラインに基づき、車内換気や消毒などの新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいます。

安心して利用するためには、利用者も右記のことに注意をし、利用してください。

- ① マスクを着用し、会話は控えめに
- ② 車内換気への理解・協力を
- ③ テレワーク・時差出勤に努める



上毛電気鉄道では、電車の折り返しごとに車内清掃と消毒を実施しています。手すりやつり革のひとつひとつも消毒。窓口にもビニールシートを設置し、安心して利用してもらうための取り組みを行っています。

関東交通をはじめ、各バス会社でも対策を徹底しています。車内の消毒や換気をこまめに実施し、運転手はマスク着用とビニールシートで飛沫を防止。一部の座席は座れないようにして密になるのを防いでいます。

interview

4月から本格的にテレワークを導入しました。5年くらい前から検討はしていましたが、うまくできるか社員からの不安の声もあり、今の世の中の動きが本格的な導入のきっかけになりました。



テレワークを導入
石井設計 山口 幸治さん 原澤 秀明さん

テレワークの1番のメリットはどこにいても仕事ができること。報告ごとや日報の作成まで、全ての業務がパソコンやタブレットさえあればできるようグループソフトウェアをカスタムして、活用しています。導入前には、部署ごとに必要なものや課題を確認した他、少人数での実証実験をするなど検討を重ねました。

緊急事態宣言発令中の期間実施したリモートワークに関して取った社内アンケートでは、導入して良かったという意見が9割。通勤時間の短縮につながることや家族とのコミュニケーションが取れることなど多くのメリットを感じられたようです。



図面を見ながら
リモート会議

新型コロナウイルス感染症対策として、テレワークの導入や検討をする企業が増えています。テレワークは、ICTを活用した、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方。自宅や外出先での勤務を可能とすることで、従業員の働きやすさや生産性の向上につながります。

☎ 産業政策課 ☎027・898・6985

新しい働き方へ
テレワーク導入企業が増えています

ウィズコロナ 新しい日常へ

☎ 各課

友人、隣人の命を守ることにつながります。

感染症流行前とは違う日常にストレスを感じた時は周囲に気持ちを話したり体を動かしたりして、不安を和らげることも大切です。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に必要とされている、新しい生活様式への移行。

人との接触を減らすことやマスクをすること、手洗いをすることなど、一人一人の心掛けが自分自身や家族、

黄色い封筒が目印です 給付金未申請者に申請書再送

☎ 特別定額給付金専用ダイヤル
☎027-898-1192(平日9時~17時)

一人10万円を支給する、特別定額給付金。7月17日(金)に、未申請者へ申請書を再送します。申請期限は8月28日(金)です。期限後の申請は受け付けられません。忘れずに提出してください。



各所に募金箱を設置 本市医療に引き続き支援を

☎ 未来の芽創造課 ☎027-898-6641

帰国者・接触者外来を設置する市内の医療機関支援のため募集をしている、コロナ医療戦士クラウドファンディング。各支所・市民サービスセンター、中央公民館でも寄付の受け付けと募金箱の設置をしています。支所などで受け付けできる寄付は、感謝状贈呈と広報掲載を希望しない個人、企業・団体からの寄付に限ります。



期日=8月12日(水)まで

人権に配慮を 誰でも感染する可能性があります

新型コロナウイルス感染症に関連して、インターネットやSNS上で誹謗中傷や不当な差別的扱いを受けた事例が報道されています。感染者・濃厚接触者、医療従事者などに対して差別をすることは許されません。同感染症は誰もが感染しうる感染症であり、誰もが気がつかないうちに他人に感染

させてしまう可能性があります。

医療従事者をはじめ、感染リスクと隣り合わせで働いている人に敬意を払うとともに、誤った情報で人権侵害につながることを防ぐため、正確な情報に基づいた冷静な行動をお願いします。